

iPad教師のブログ



はじめに

この本は、[「iPadとiPhone4Sで教師の仕事をつくる」](#)というぼくのブログのエントリーをまとめたものです。

使用している機器は第3世代iPadのWi-Fiモデルです。



このブログから誕生した電子書籍はこれで4冊目になります。

[1冊目：iPadとiPhoneで教師の仕事をつくる（2011年7月）](#)

iPadとiPhoneで
教師の仕事をつくる



canpycanpy 著

[2冊目：iPad2で授業をつくる-iOS5に対応した小学校での教育実践（2011年12月）](#)

iPad2で授業をつくる
iOS5に対応した小学校での教育実践



[3冊目：iPhoneで教師の仕事をつくる（2012年6月）](#)

iPhoneで 教師の仕事をつくる



そしてこの本です。

タブレットパソコンやスマートフォンの普及と進化は年々加速しています。

ぼくも取り残されないように、発信を続けていきたいと思います。

2013年2月 canpycanpy

赴任式

新しく勤務する学校で赴任式がありました。

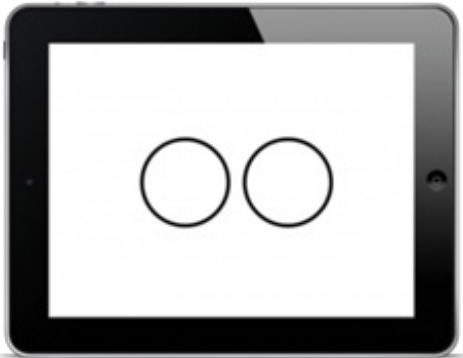
ぼくはiPadを持ってあいさつをしました。

画像を3枚、カメラロールに入れておきました。

「〇〇△△（ぼくの名前）と言います。」



「前にいた学校では、〇〇先生と名字で呼ばれていました。」



「前の前にいた学校では、△△先生と名前で呼ばれていました。」



「皆さんはどちらで呼んでくれますか。」



名前の方で呼ばれることになりました。

授業参観日に、これまでに撮った子どもたちの学校での写真を見せることにしました。

iPadのピクチャーフレームを使いました。

手順は次の通りです。

1 パソコンで写真フォルダを整理する

フォルダを一つ作って、その中に写真を入れます。



2 パソコンのiTunesライブラリに写真フォルダを追加する

パソコンのiTunesを起動して、「ファイル」→「ライブラリに追加」から写真フォルダを選択して追加します。



3 iPadをパソコンと同期する

iPadとパソコンをケーブルでつなぎます。

「写真」から、写真フォルダを選択して同期します。

✓ 写真の共有元: ピクチャ

- すべてのフォルダ
- 選択したフォルダ
- ビデオを含める

フォルダ

<input checked="" type="checkbox"/>	2011-06-01父親参観	78
<input checked="" type="checkbox"/>	2012-04-21	1
<input type="checkbox"/>	Adobe	
<input type="checkbox"/>	com.leawo.dvdcreator	
<input type="checkbox"/>	ipad	
<input type="checkbox"/>	PhotoSync	
<input type="checkbox"/>	Skitch	

4 ピクチャフレームの設定をする

iPadの「設定」→「ピクチャフレーム」から、諸々の設定を行います。



「アルバム」から、同期した写真フォルダを選択します。

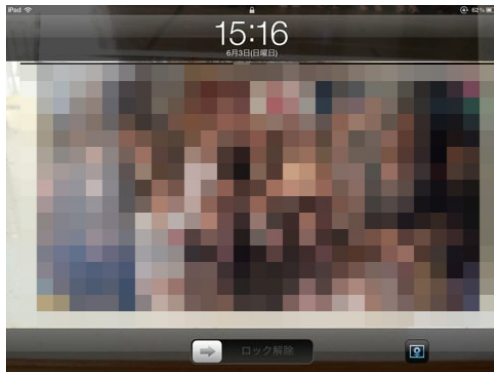


5 ピクチャフレームを開始する

ロック画面右下の「モノクロひまわり」をタップするとピクチャフレームが始まります。



途中で画面をタッチすると、一瞬止まって日時等が表示されますが、すぐにもとのピクチャフレームに戻ります。

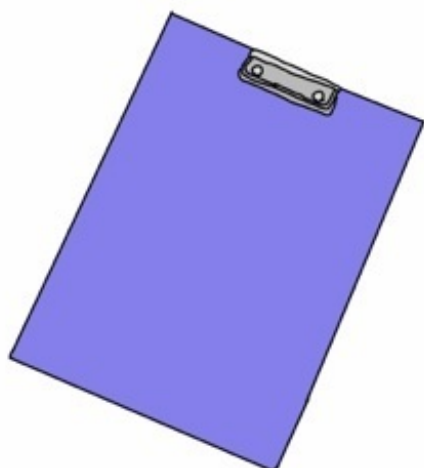


iPadの写真アプリから「スライドショー」で表示することもできますが、これだと画面をタッチしたときにすべて止まってしまいます。

授業参観でiPadが手元から離れているときは、ピクチャフレームで見せる方が無難だと思います。

。iOS6以降なら、[アクセスガイド](#)を設定するのも有効です。





職員室では、職員全員には配布されない回覧資料が回ってくる場合があります。研修会の案内や授業に使えるような資料などです。

以前までは必要に応じてコピーをとっていたのですが、紙にするとかさばったり散逸したりすることがあります。

必要な回覧資料は迷わずiPhoneかiPadで写真を撮ります。

わずか数秒。

なくすことなくいつでも見返すことができるので便利です。

後々必要になりそうであれば、Evernoteに突っ込んでおくと文字部分で検索もできます。



[Evernote](#) 

価格：無料

ジャンル：仕事効率化

iPadは資料の収集や整理、保存も手軽に行えるのがいいですね。



勤務地で駅伝大会が開催され、ぼくの学校の子たちも出場することになりました。

仕事の帰りに、走路の地図や選手名簿を見ながら、コースや中継地点を確認しに行こうとしました。

ところが日は沈んで薄暗くなっていました。

紙の地図や名簿を夜空の下で確認するのは難しい状況でした。

そこでiPadです。

走路の地図と選手名簿をカメラで撮り、画面に映しました。

それを車の助手席に置きながら、コースを回ってきました。

周りは暗くても、iPadの画面は光ってよく見えました。

年賀状

クラスの子たちに送る年賀状をiPadで作りました。
使ったアプリは次の2つです。



[合成写真 PhotoLayers for iPad mini](#) 

価格：85円

ジャンル：写真／ビデオ



[筆まめ年賀2013](#) 

価格：無料

ジャンル：写真／ビデオ

1 写真を合成する

PhotoLayersで写真を合成しました。（画像の写真はフリー素材です）
年賀状には学校で撮った数枚の写真を入れました。



写真を重ねたり、大きさや向きを微妙に変えたりしました。
このアプリでは10枚まで合成可能です。

合成が完了したらカメラロールへ保存しました。



2 年賀状のフレームをつける

筆まめ年賀をつかって、合成写真に年賀状らしいフレームをつけました。
「デザインから作成」から、編集をします。



アプリ自体は無料ですが、有料コンテンツを購入して素材やフォントなどを追加することもできます。

枠を選び、写真のところに画像を入れました。



3 テキストを編集する

自分の住所氏名を書いて挿入しました。



4 印刷する

Wi-Fiで接続しているプリンタから印刷をしました。



パソコンでていねいに作る方法もありますが、ぼくにはiPadで作る方がやりやすいです。

衣装

学習発表会の衣装を作ることになり、作り方をネットで検索しました。

多くのサイトの中から、わかりやすいページを見つけました。

このページの画面をiPadのスクリーンショットで保存しました。

スクリーンショットというのは、パソコンで表示されている画面全体をそのまま一枚の画像として保存する方法のことです。

iPadやiPhoneでのスクリーンショットの写し方は、「スリープボタンとホームボタンの同時押し」です。

同時に押すと、シャッター音がして画面が一瞬光ります。



次の瞬間には、表示されている画面がカメラロールに収まっています。

オフラインでWebページを見るための手軽な方法です。

こうしてiPadで保存した画像を、家庭科室でミシンのそばに置きながら作業をしました。



クラスの子が地域の意見発表会に出場することになりました。
放課後の教室で発表の練習をして、その様子をiPadで録画して見せました。
映像で振り返りながら、抑揚や声の強弱を確認していきました。
このような一対一での指導のときに、使いやすいのがiPadです。

学級懇談会

年度初めの学級懇談会を行いました。

授業の様子や学校行事の様子などをiPhoneで録画したものをiPadのiMovieで編集しました。それをテレビにつないで見てもらいました。

歌っているところや音読の様子は、やはり動画の方がよく伝わります。



iMovie

価格：450円

カテゴリ：写真／ビデオ



児童会が企画する七夕集会の内容を決めました。

その中で、七夕の織姫と彦星の寸劇をすることになりました。

セリフを覚え、衣装や小道具のだいたいがそろったのでリハーサルをさせました。

その劇の様子をiPadのカメラで録画しました。

リハーサルが終わってすぐに再生し、子供たちとセリフの言い方や登場の仕方について意見を出し合いました。

iPadは録画した後にその場ですぐ見られるので便利です。

跳び箱

体育で跳び箱運動を行いました。

[文部科学省チャンネル](#)の動画で開脚跳びを見た子たちが、腰が高く浮いていることに驚いていました。

「いやいや、君たちもちゃんと腰が浮いているよ」

そう言って子供たちが開脚跳びをする様子をiPadで録画し、見せてあげました。

自分がかっこよく跳べている様子を確認できて嬉しそうでした。

頭はね跳びに挑戦している子がいました。

手をついて回転した後、背中がついてしまう子でした。

iPadでその子が跳ぶ様子を録画して、その場ですぐに見せました。

「本当だ、背中がついてる」

この子は動画を見た後、うまく手を突き放して跳ぶことができました。





学習発表会でダンスを踊ることになりました。

そのための衣装が届いたので、子供たちに着せてみました。

衣装を着た様子を子供たち自身に見せたいのですが、勤務校には全身を写せるだけの大きな鏡がありません。

手洗い場やトイレの鏡では上半身しか映りません。

そこで、iPadのカメラで子供たちの全身を映しながら、テレビに表示しました。

衣装を練習の始めの段階で一度着せておくと、今後の練習への取り組み方も変わってくると思います。

でもやっぱり衣装を着た姿は、本物の姿見で見た方がいいと思います。

ダンス

学習発表会に向けてダンスの練習をしました。

衣装をつけてリハーサルをした時のことです。
子供たちが踊っているところをiPadで録画しました。

教室に戻って、録画したものを再生して見せました。
途中、スロー再生しながら注意点を話そうと思いました。
そこで使ったのが、SpeedUpTVというアプリです。

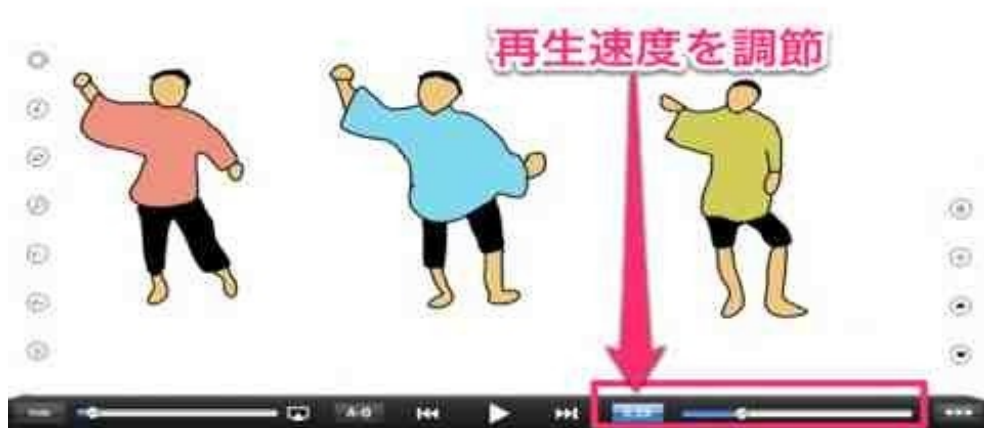
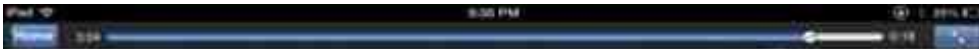


[動画スピード調節 SpeedUpTV](#) 

価格：250円

ジャンル：ユーティリティ

このアプリはスロー、左右反転、リピートなどの再生ができます。
iPadの通常の撮影（再生）速度は30コマ／1秒です。
再生速度は、1コマ／1秒～2倍速まで変えられます。
0.5倍速以上なら音声も速度に合わせて再生されます。



左右反転再生は、鏡に映った自分の姿を見ている感じになります。
動きをその場でチェックしながら修正するには、左右反転で見た方がいい場合もあります。



ピンチ操作で部分的に拡大して再生することもできます。
大勢の中の一人だけの踊りを見たい時になどに有効です。



ビデオカメラで撮って見せるよりも、iPadの方が使いやすいと思います。

木版画

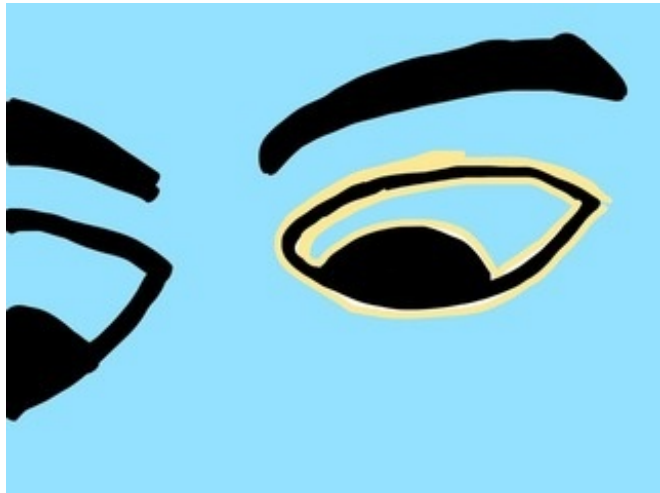
図工で木版画に取り組みました。

版木への下書きが終わり、これから彫刻刀を使うところで一斉指導をしました。

iPadをAirPlayミラーリングにしてカメラを起動し、近くの席の子に持ってもらいました。

ぼくの手元を写すように言って、テレビで彫る様子を映しながら彫刻刀の使い方などを説明しました。

カメラマン役の子は上手にぼくの手動きを撮影してくれました。



スクリーンショットを撮ってテレビに表示したままにし、授業を続けました。

新年度

新年度、次のものをPDFファイルにしてiBooksに入れてました。



月ごとの行事予定表

学校行事や学校外の行事、授業時数などが書かれた表です。
文書ファイル化されていたものをPDFに変換しました。

教科別の年間指導計画

教科書会社が配布しているPDFファイルです。

市販テストの解答

1枚ずつ切り離してスキャンしました。

PDFファイルをiBooksに取り込むには、iTunesを使います。

まずパソコンのiTunesの「ファイル」→「ライブラリに追加」から、取り込みたいファイルを選択します。



次にパソコンとiPadをつないで、同期をするときにライブラリの中にあるファイルにチェックを入れます。

研修会

出張で研修会に出席しました。

研修会の要項には、持参する資料が記されていました。

- ・ 勤務校の年間指導計画
- ・ [学習指導要領解説](#)
- ・ [国立教育政策研究所の資料](#)

いずれもPDFファイルで配信されているものです。

全部紙にして積み重ねると、かなりの分量です。



ぼくはiPadにこれらの資料を全部入れておいたのですが、とりあえず印刷して紙の状態で束ねて持参しました。

とても重かったです。

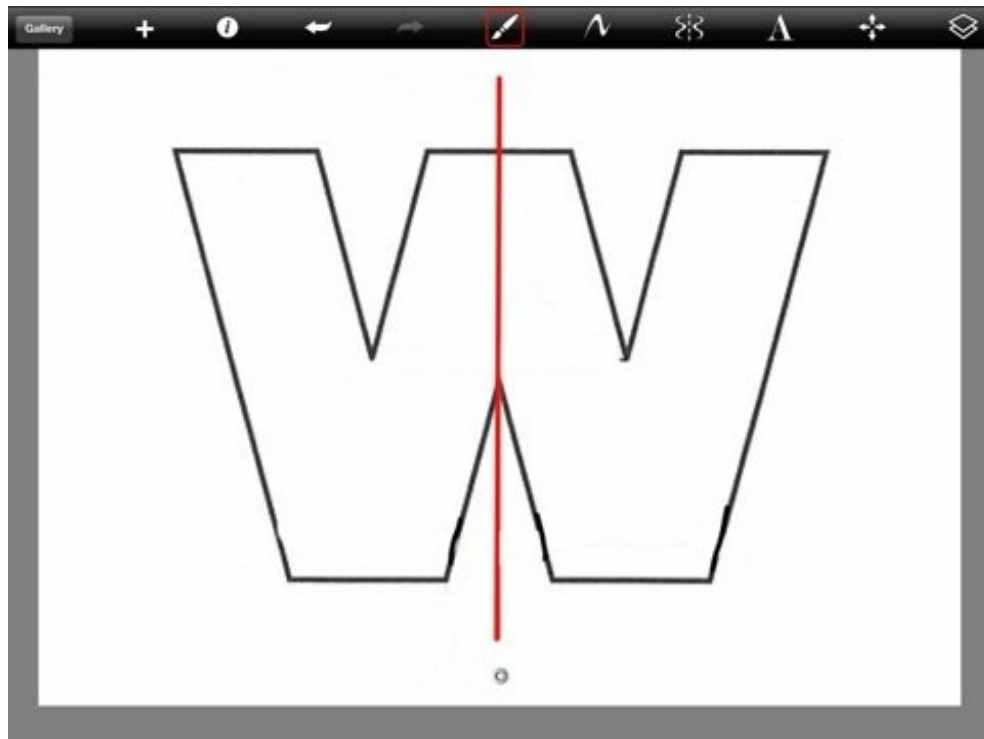
これからはiPadだけ持っていこうと思っています。

線対称

6年生の算数で線対称の授業をしました。

線対称な図形の対応する頂点や辺を探す学習です。

アルファベットの「W」のカードを折り曲げながら考えます。



ぼくはiPadのSketchBook Expressを使ってテレビに表示しました。



[SketchBook Express for iPad](#) 

価格：無料

ジャンル：エンターテインメント

元の画像をiPadの中心に合わせます。

そして、線対称をかくボタンを押してから片方の辺をなぞり始めます。



線対称の図形を
かくボタン

すると、反対側も左右対称で線が引かれていきます。

[【YouTube】線対称の図形をかく](#)

この教材には、2枚のレイヤーを使います。

1枚目はWカードの画像です。iPadのカメラで写真を撮るだけです。

このレイヤーは透過率を50%くらいにしておきます。

2枚目は透明のレイヤーです。

このレイヤーに線を書いていきます。

アルファベットの右半分をなぞると、左側にも線対称になって線が引かれていきます。

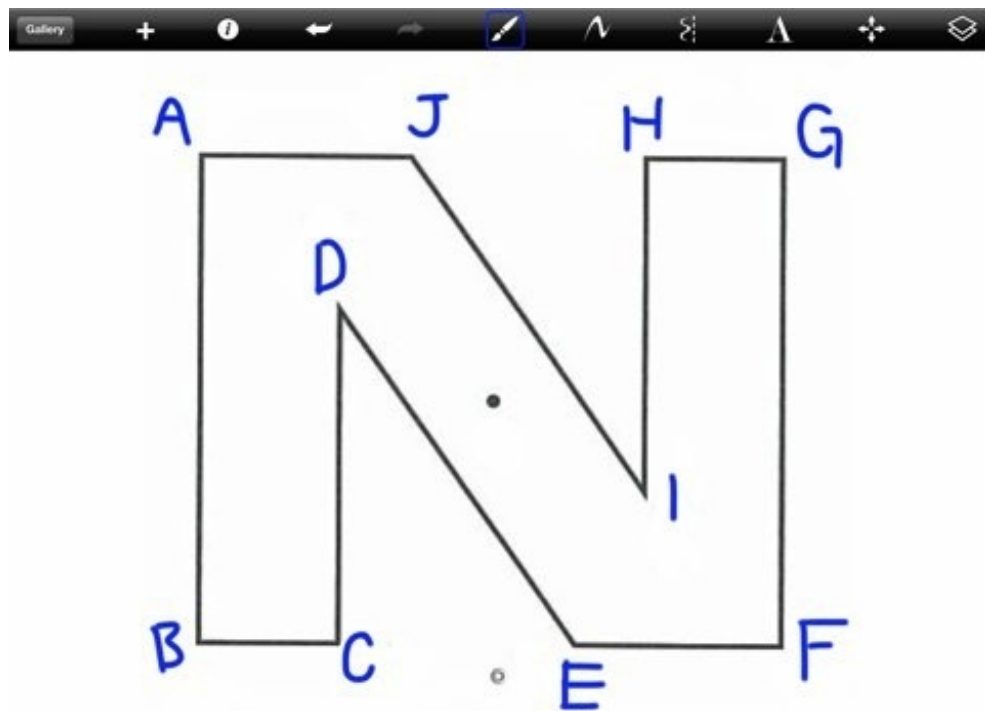
点対称

6年生の算数で点対称について授業しました。

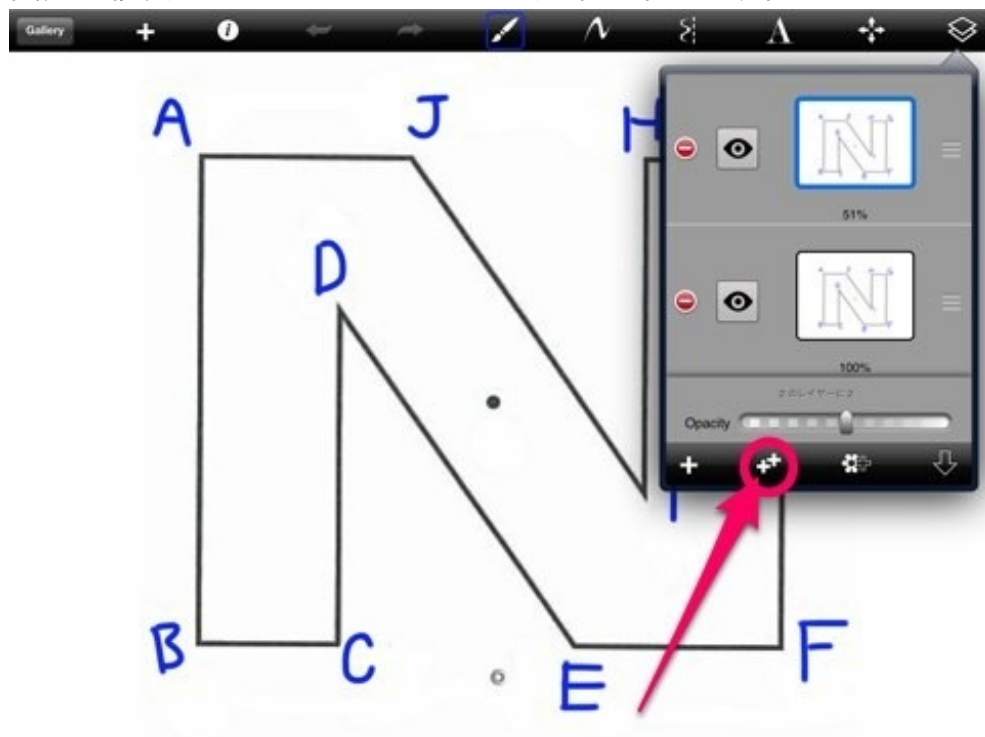
点対称な図形は、180度回転しても同じ形になります。

そのことを確認するために、iPadのSketchBook Expressを使いました。

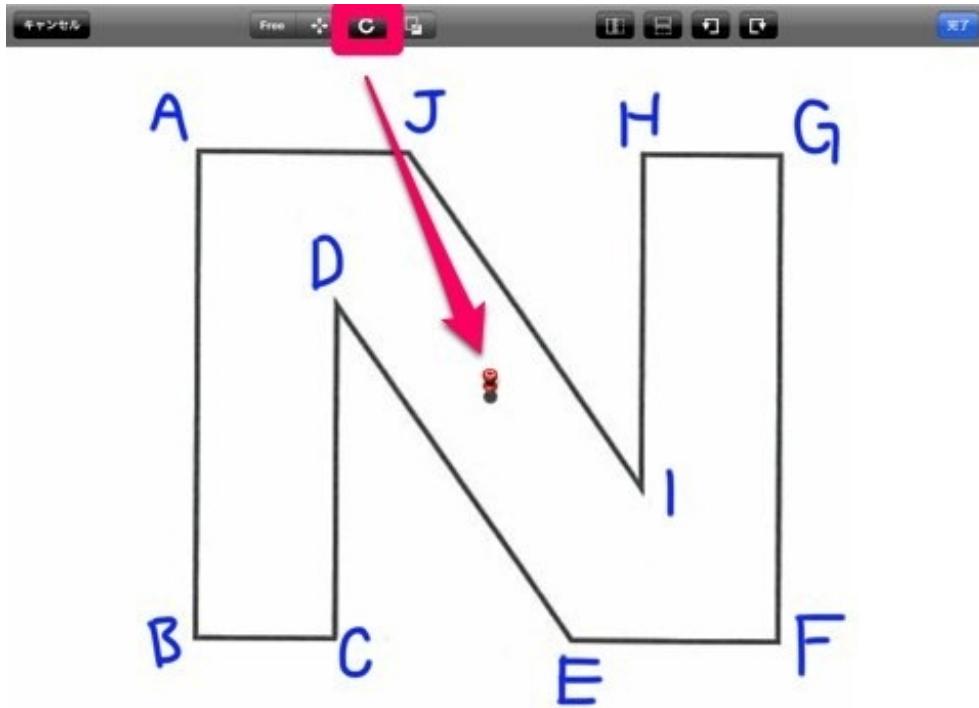
まず、点対称な図形を描きます。



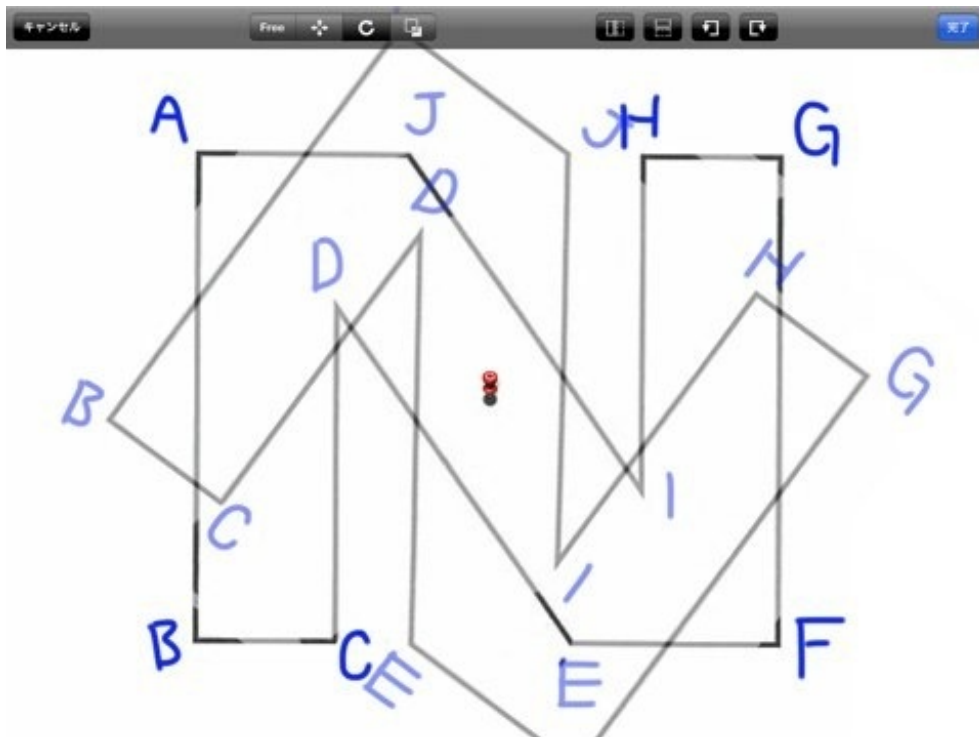
図形を複製して、上のレイヤーは透過率を下げます。



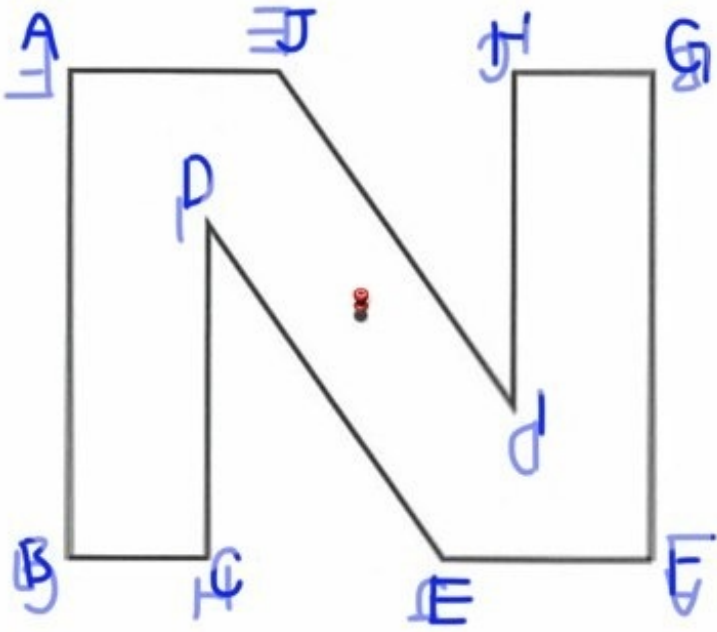
次にレイヤーを操作する画面に切り替えて、回転モードを選びます。
そして対称の中心にピンを置き、回転させて確認します。



くるっと回して・・・



対応する頂点を確認します。

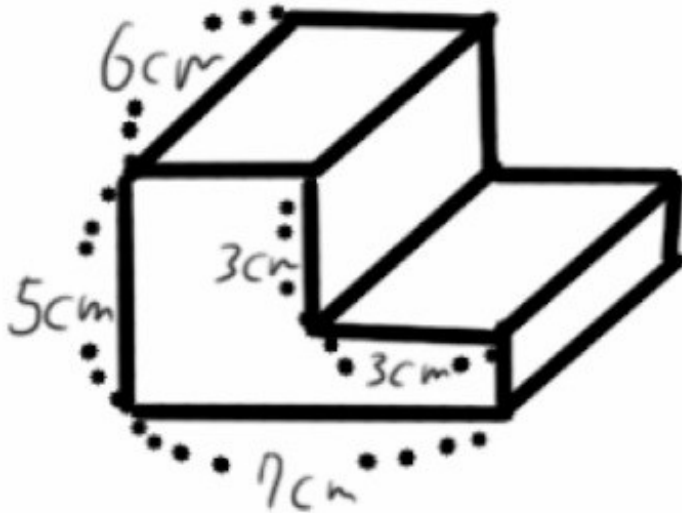


以上の操作が時間にして15秒ほどで出来ました。

[【YouTube】 点対称の中心を確認する](#)

複合図形

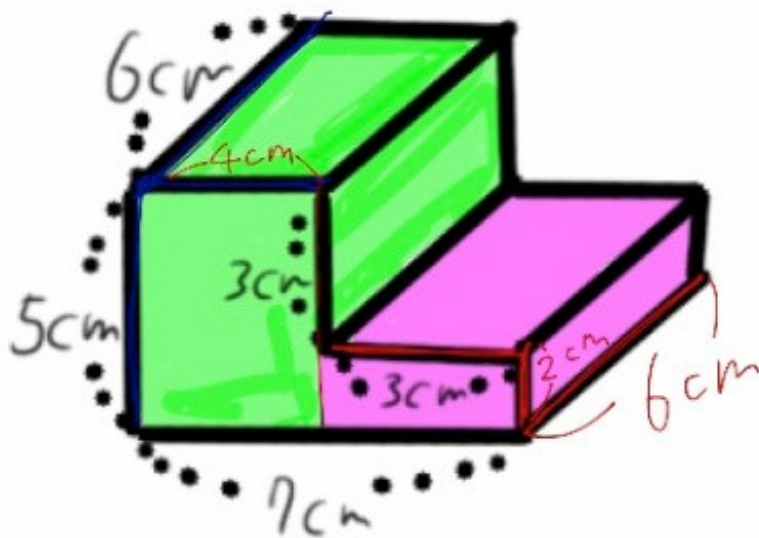
放課後、Bさんに個別指導をしました。
複合図形の体積を求める問題が載ったプリントです。



個別指導では、これまでならBさんのプリントに直接補助線を引いたり、わかっていない数値を記入したりしながら教えていました。

今日は手元にiPadがあったので、GoodNotesでBさんのプリントを写し、iPadに補助線や数値を入れながら説明しました。

必要な箇所を拡大したり、色を変えて塗りつぶしたりしながら説明できました。



Bさんのプリントにも、同じように線や数値を書き込ませました。

予備のプリントがあれば、iPadではなくプリントに鉛筆やペンで書き込みながら同じようなことをしてもいいかもしれません。

いずれにしても、子供が解答するプリントに教師が直接書き込みながら指導するより、別のものを書いてみせるのがいいかと思います。

リモコン

全校朝会でスライドを使った話をしたいので、スライドの作成とプレゼンの操作をしてほしいと依頼がありました。

パソコンでのプレゼン作成といえばパワーポイントが定番ですが、ぼくはiPadのプレゼン作成アプリ「キーノート」を使いました。



[Keynote](#) 

価格：850円

ジャンル：仕事効率化

スライドが完成しました。

次は操作です。

iPadをテレビに有線をつないで、そのそばでiPadを持ちながら操作することもできますが、今回はiPhoneを使った遠隔操作にチャレンジしてみました。

1 Keynote RemoteをiPhoneに入れる



[Keynote Remote](#) 

価格：85円

ジャンル：仕事効率化

このアプリは、iPhoneやiPad、Macにおけるキーノートのスライドショーを操作するためのものです。

つまり、iPhoneをリモコンにしてしまうのです。

2 Bluetoothをオンにする

iPad、iPhone双方のBluetoothをオンにします。

設定>一般>Bluetoothから操作します。

オンにすると、ステータスバーにBluetoothのマークが表示されます。



Bluetoothというのは、数mの近距離で通信するための技術です。

パソコンやスマホをプリンタやヘッドホン、スピーカーに無線でつなぐことができます。

3 iPadとiPhoneをリンクさせる

iPadのKeynoteを起動します。

設定>詳細>Remoteから、Remoteを有効にします。





iPhoneのKeynoteRemoteを起動して、設定をタップします。
「新規Keynoteリンク」をタップします。



iPhone側にパスコードが表示されます。

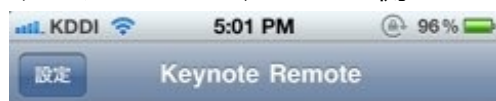


同時にiPad側で、リンクの承認を求めるボタンが表示されます。ボタンをタップして、iPhone側のパスコードをiPadに入力します。





リンクされると、iPhone側はこのような画面に。



“iPad3”上の Keynote に接続しました。

スライドショーを再生

「スライドショーを再生」をタップすると、iPadでスライドショーが始まります。



Keynoteの詳しい情報

スライドをスクロール。イメージやテキストをタッチ。最もパワフルなモバイルデバイス用プレゼンテーションソフトを体験してみましょう。

iPhone側にiPadのスライドが表示されます。

これを操作していきます。



Keynoteの詳しい情報

スライドをスクロール。イメージやテキストをタッチ。最もパワフルなモバイルデバイス用プレゼンテーションソフトを体験してみましょう。



子供たちの列の隣で操作をしました。

ぼくが操作をしていることに気づいた子は少なかったと思います。

プレゼン中に電話やメールの着信があるといけないので、iPad、iPhone双方とも機内モードにすることをおすすめします。

機内モードでもBluetoothは接続可能です。



グラフ

勤務校の児童の学力の状況などをプレゼンすることになりました。
そこで、学力の伸びがわかるグラフを作ってみました。
今回はiPadのKeynoteを使いました。



[Keynote](#) 

価格：850円

ジャンル：仕事効率化

はじめにテーマを選びます。

Macだと40以上あるのですが、iPadには12しかありません。



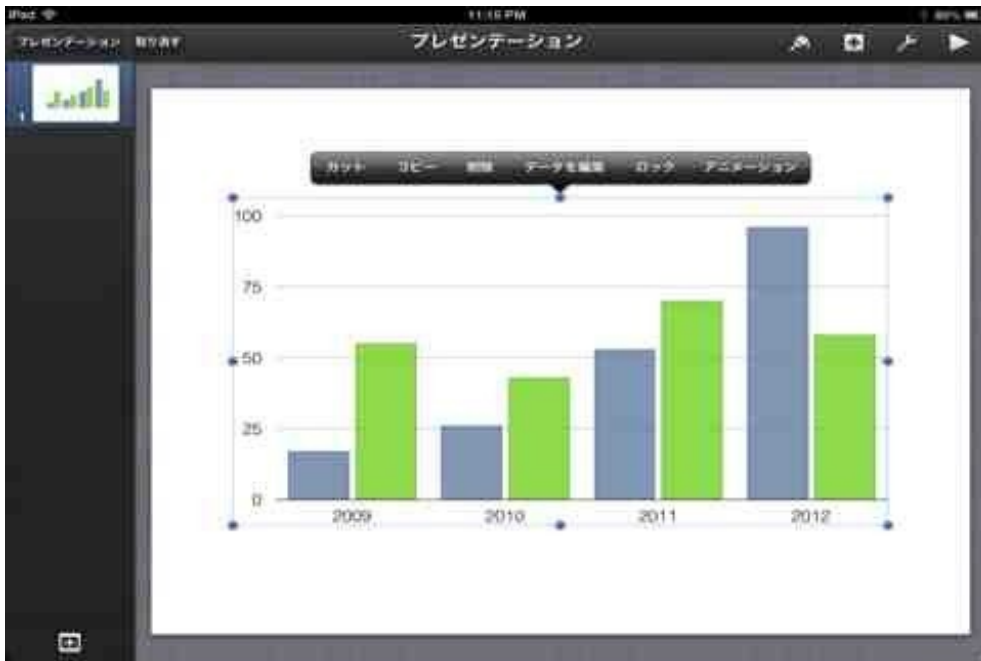
テーマを選ぶと編集画面になります。



+をタップして表を挿入し、グラフの種類と色を選びます。
棒グラフ、折れ線グラフ、面グラフ、階層グラフ、円グラフ、散布図など9種類あります。
Macでは、この他に折れ線と棒の複合グラフが選べます。



表を挿入すると、こんな感じのサンプルが貼り付けられます。
「データを編集」をタップします。



グラフデータを書き込む画面が表示されます。
 系列名やデータを入力します。

	田舎	都会	理科	社会
今年	80	85	84	92
昨年	75	78	81	88

「完了」をタップするとグラフが表示されます。



「グラフオプション」で調整します。
タイトル、凡例、数値ラベルなどを入れたりします。



こんな感じになりました。



iPadのKeynoteは、Mac版と比べると機能や挿入できるオプションがかなり削ぎ落とされています。

例えば、グラフの色は12種類のテンプレートからしか選べず、任意の色や柄をつけるということは今のところできません。（もしあれば教えてください）

そこは使いやすさとのトレードオフです。

ちなみにぼくは、Macでデザインをある程度まで作ってから、iCloud経由でiPadに読み込んで微調整しました。



発表者ノート

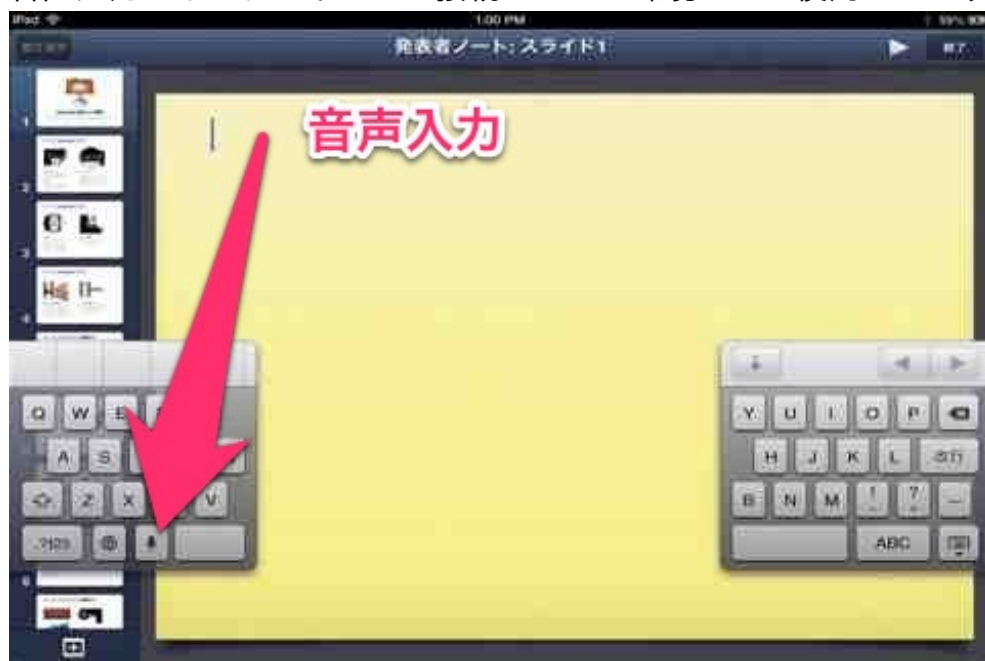
勤務校の様子をプレゼンすることになり、iPadのKeynoteでスライドを作成しました。
プレゼン用の原稿を管理職にチェックしてもらうため、発表者ノートに原稿を書き込んで印刷することになりました。

発表者ノートは、ツール→発表者ノートで書き込み画面になります。



iPadのキーボードは、普通のパソコンの物理キーボードより打ちにくいです。
そこで、音声入力で書き込むことにしました。

音声入力はインターネットに接続している環境でのみ使用できます。



これが非常に変換精度がよく、すらすらと書き込むことができました。

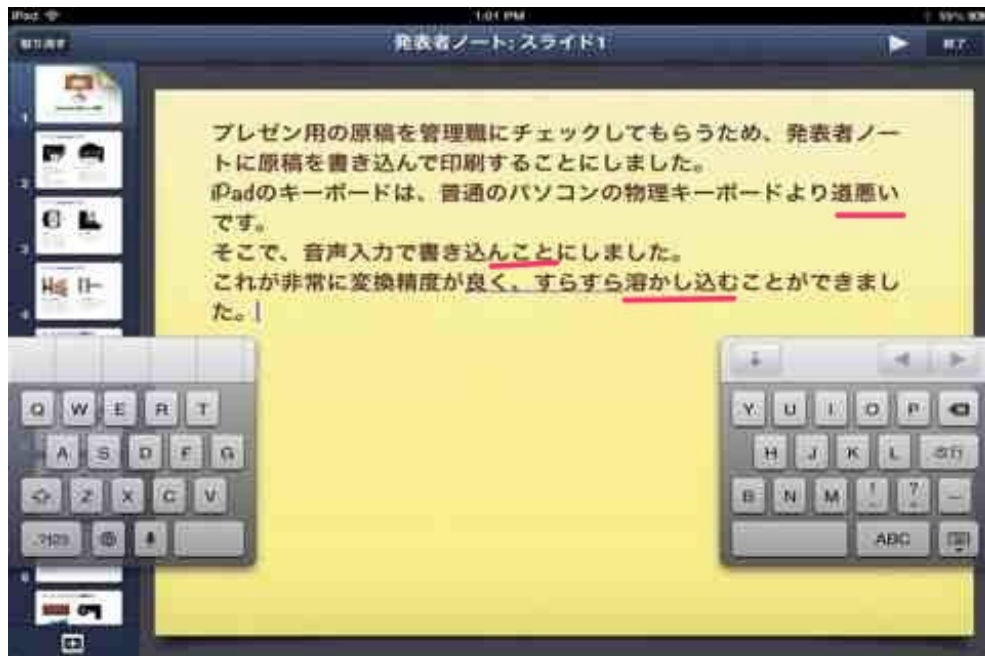
上に書いた文章を一気に読み上げて変換してみましょう。

句読点は「てん」「まる」、改行するときは「かいぎょう」といえば指示通りに表示します。

変換にかかる時間は数秒です。

修正箇所は3カ所だけ。

ぼくの滑舌がよければ、精度はもっと上がると思います。



書き込んだら印刷をします。

ツール→共有とプリント→プリントとタップします。



レイアウトオプションを選択します。

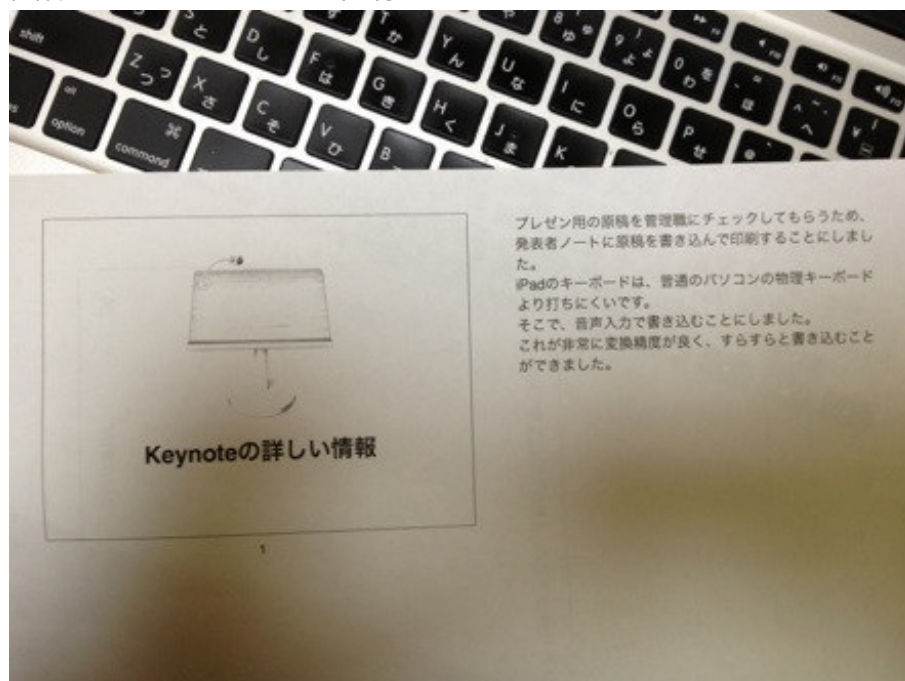
- ・個別のスライド
- ・配布資料
- ・ノートがついたスライド
- ・罫線がついたスライド

の4種類から選べます。

今回はノートがついたスライドで印刷しました。



画像がモノクロなのは仕様ではなく、ぼくのプリンタのインクが切れたからです。



文章を考えながら入力するとなると、音声入力は不向きです。

すでに出来上がっている文章を書き写すのでしたら、音声入力の方が楽だと思います。



記号などを入力するときは次のように言うと変換されます。

、 → 「てん」 「とうてん」

。 → 「まる」 「くてん」

? → 「はてなまーく」 「ぎもんふ」

! → 「びっくりまーく」 「かんたんふ」

: → 「ころん」

; → 「せみころん」

@ → 「あっとまーく」

¥ → 「えんまーく」

・ → 「なかぐろ」

... → 「てんてんてん」

() → 「かっこ」 「かっことじる」

「 」 → 「かぎかっこ」 「かぎかっことじる」

{ } → 「ちゅうかっこ」 「ちゅうかっことじる」

○ → 「しろまる」

● → 「くろまる」

◎ → 「にじゅうまる」

△ → 「しろさんかく」

▲ → 「くろさんかく」

▽ → 「ぎゃくさんかく」

▼ → 「ぎゃくくろさんかく」

□ → 「しかく」

■ → 「くろしかく」

改行するとき→「かいぎょう」

トランジションとビルド

iOS版Keynoteのトランジションやビルドをまとめてみました。
動画に入っていないトランジションやビルドもあります。

[【YouTube】Keynoteのトランジション](#)

トランジションというのは、スライドが切り替わるつなぎ目の表現効果のことです。
また、ビルドとはスライド内にあるテキストや画像などの表現効果のことです。
パワーポイントの「アニメーション」にあたるものです。

iPadでプレゼンする前にぼくが確認したことや、確認していなくて失敗したことを書いておきます。

1 アクセスガイドを設定する

プレゼンのリハーサルを行ったとき、間違えてスリープボタンを押してしまいました。

スリープボタンを押すと画面が真っ暗になります。

復活させるには、ロックを解除しないといけません。

本番でこんなことになっては困るので、アクセスガイドを設定しました。

アクセスガイドは子供や不特定多数の人々に使用させるときに、設定を勝手に変更させないために設定するためのもので、iOS6以降の機能です。

アクセスガイドを設定すると、ホームボタンもスリープボタンも音量ボタンも一時的に無効になります。

間違ってふれてしまっても、ホームボタンをトリプルクリックしてパスコードを入力するまで解除されません。

設定することで、ホームボタン、スリープボタン、音量ボタンといったハードウェアボタンが「常にオフ」になります。

「タッチ」は「オン」にしないとスライドの進行ができなくなりますので気をつけてください。



アクセスガイドはプレゼン中の操作ミスを防ぎますが、プレゼン途中でのアプリの切り替えや音量調整もできなくなります。

この点に注意して、設定の最後の最後に行うといいと思います。

[アクセシビリティ—Apple公式](#)

2 マルチタスクを終了させる

いろいろなアプリが終了されないままだと、メモリの使用量が増えていきます。

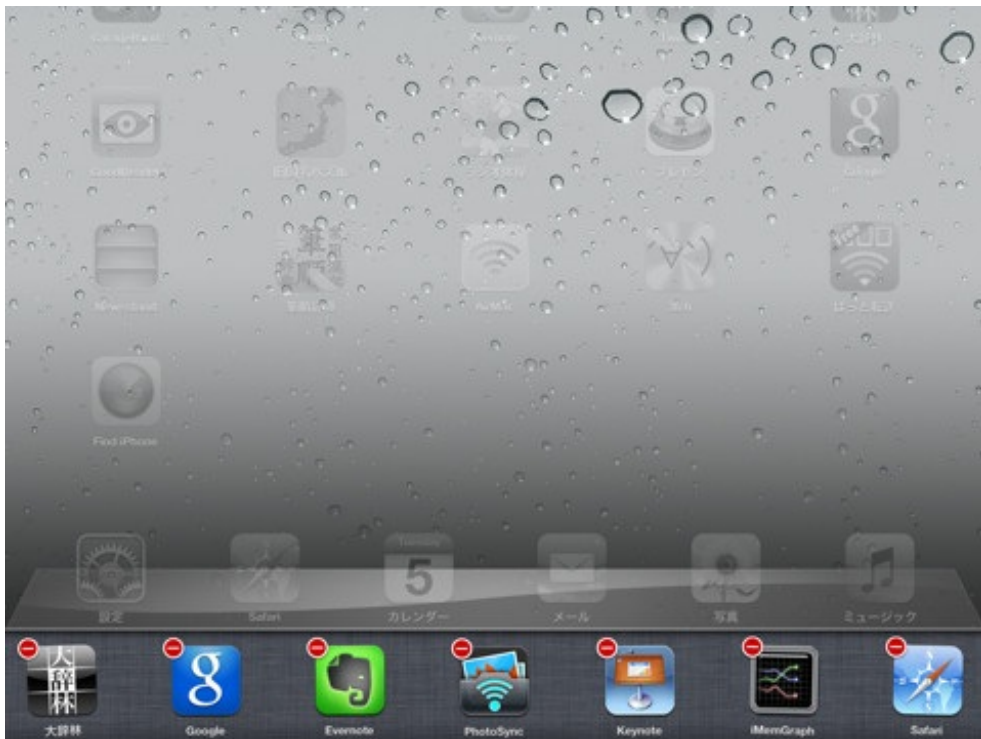
プレゼンのためにテレビやプロジェクタなどの機器へ出力すると、メモリの使用量は更にふえます。

メモリが増えると、アプリは強制終了します。

他のアプリは終了させるか、電源を入れ直した方が安全だと思います。

マルチタスクの終了の仕方は次の通りです。

- (1) ホームボタンをダブルクリックする。
- (2) アプリアイコンを長押しする。
- (3) 終了させたいアプリのアイコンをタップする。



もしくは電源を入れ直します。

3 自動ロックを設定しない

放置すると自動的にロック画面になる「自動ロック」は設定をはずしておきます。

自動ロックの設定は、「設定」→「一般」→「自動ロック」からできます。



4 音量は最大にしておく

プレゼン資料に動画を貼り付けてある場合は、最初で音量を最大にしておきます。

ぼくは音量を小さめにしたままアクセスガイドを設定してプレゼンをやってしまい、動画の音声
が小さいままでプレゼンを続けざるを得ませんでした。



Keynoteの詳しい情報

筆順

ぼくが漢字の筆順を確認する時に使っているアプリを紹介します。



常用漢字筆順辞典 | 5648漢字 音訓読みデータ追加版 [App Store](#)

価格：500円

ジャンル：辞書／辞典／その他

無料版もあります。

こちらは広告が入ります。



常用漢字筆順辞典 Free [App Store](#)

価格：無料

ジャンル：辞書／辞典／その他

このアプリは、「ユニバーサルアプリ」となっています。

ユニバーサルアプリというのは、インストールされた機器に応じてデザインが変わるアプリのことです。

iPhoneなら小さい画面のアプリになり、iPadならiPadの大きさが生かされた画面になります。

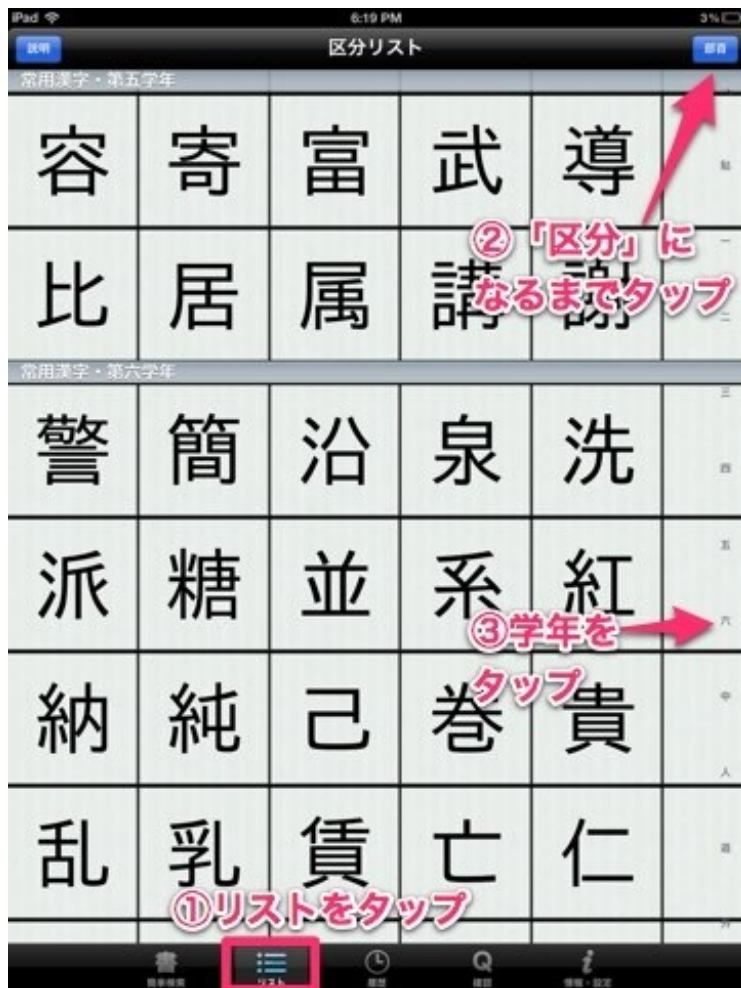




使い方は、発売元が公開されている動画をご覧になった方がわかりやすいかと思えます。

[【YouTube】常用漢字筆順辞典](#)

学年ごとの区分リストを表示することもできるので便利です。



パズル

授業が少し早く終わったので、iPadに入れてあった「旧国名パズル」をテレビに映しながら子供たちとやってみました。

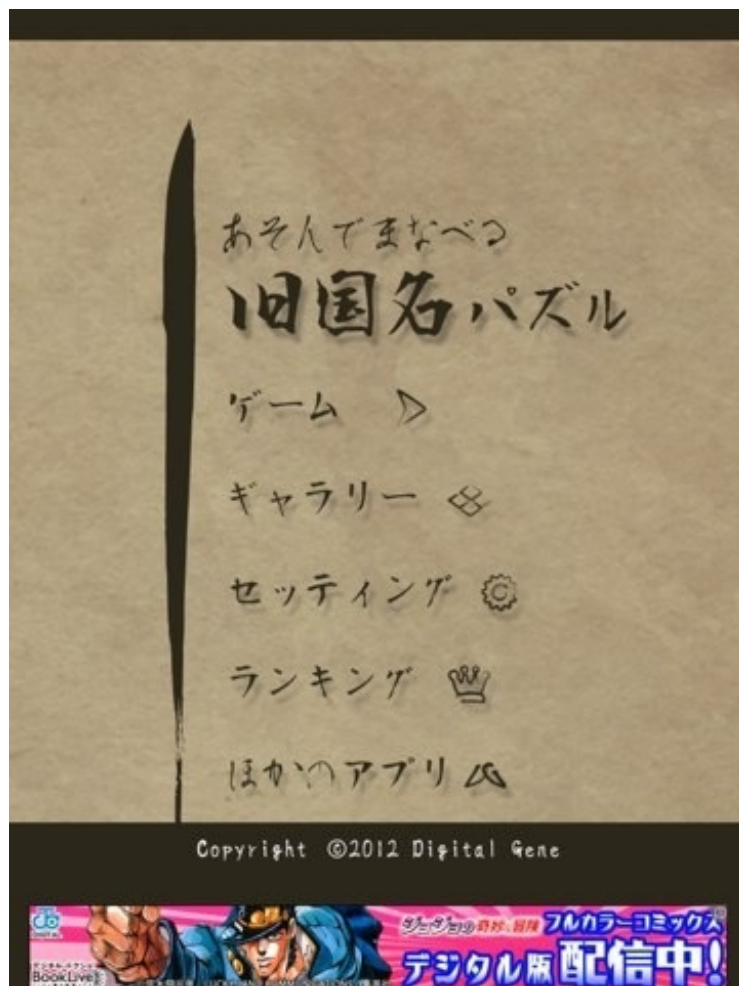


[あそんでまなべる旧国名パズル](#) 

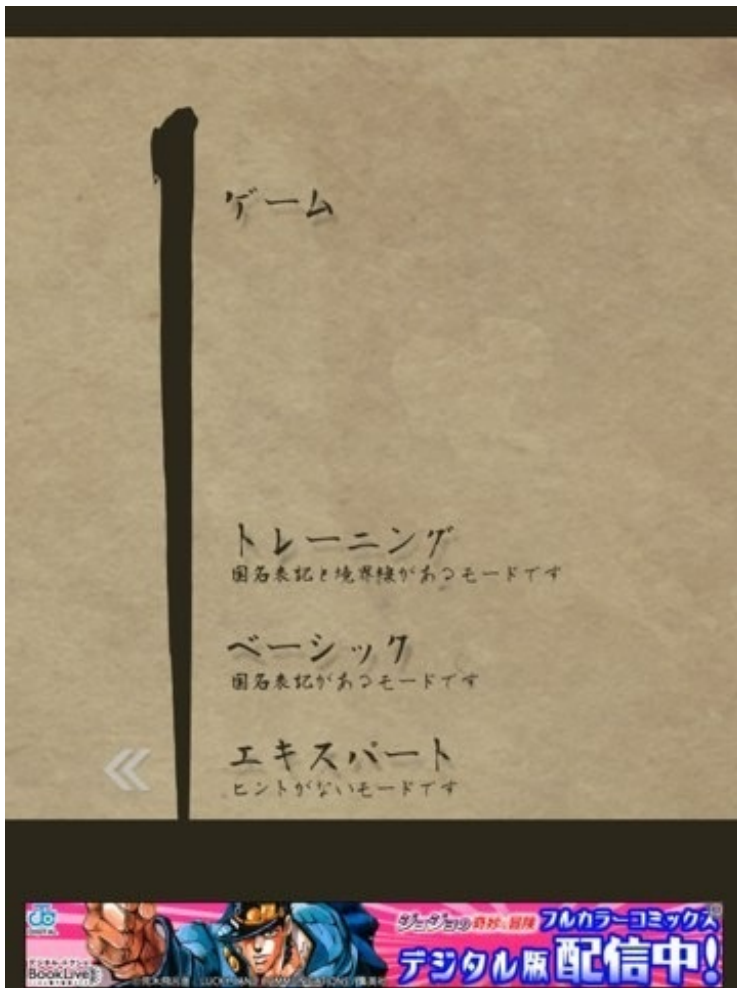
価格：無料

ジャンル：ゲーム

薩摩、土佐、尾張など昔の国の名前がついた地図のパーツをはめていくパズルです。



トレーニング、ベーシック、エキスパートの3種類のモードがあります。
教室ではトレーニングモードで行いました。



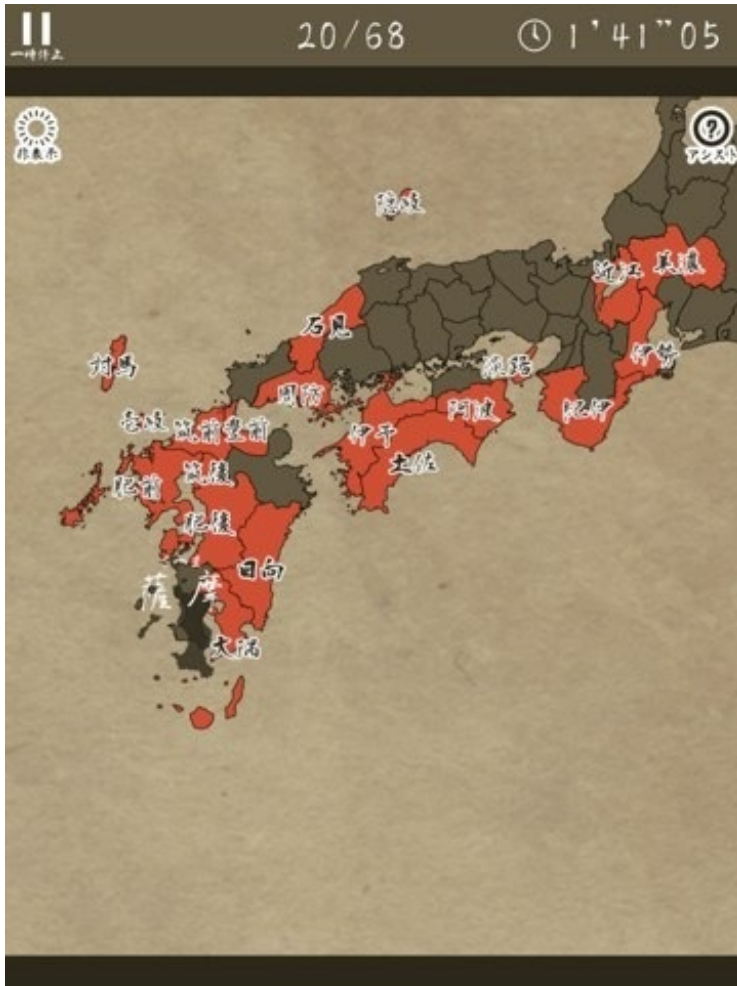
画面の下段に68のパーツが表示されます。

それを上の地図に当てはめていきます。

「わかる国名があったら教えて」とぼくが言いました。

地名を知っている子は薩摩、肥後、尾張、三河、土佐、佐渡、淡路、対馬、伊豆、大和などを答えていました。

地名を知らない子は、その形から信濃、近江、常陸、隠岐などを見つけました。



ランキングに名前を残すこともできます。

ぼくは夏休みに少しがんばって2分を切るレベルまでになりました。

ワールドランキング

トレーニング

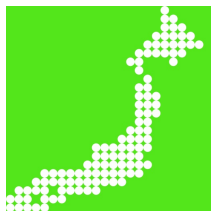
トレーニングベーシック 伝キスパート

あなたの順位

88	carpy	1'43"98
おなまえ		タイム
1	まさし☆	1'01"77
2	GEORGE	1'02"93
3	ニノりん	1'04"42
4	くまディーナ	1'07"38
5	okakin193	1'11"62
6	賢也神	1'12"42
7	はと♡♡	1'12"80
8	ばるる	1'15"40
9	動物病院	1'17"63
10	はざおっち	1'17"72
11	おりいぶおいる	1'18"40
12	樹李	1'19"45
13	みそらーめん	1'20"73
14	くま	1'22"42
15	おじいちゃん	1'22"42
16	juu	1'22"72
17	フオン	1'23"88
18	たくみん	1'23"93
19	初音	1'24"20
20	ふみふみ	1'24"33

Cancel

このシリーズは他にもあります。



[日本地図パズル](#) 

価格：無料

ジャンル：ゲーム



[世界地図パズル](#) 

価格：無料

ジャンル：ゲーム



東京都地図パズル 

価格：無料

ジャンル：ゲーム



アメリカ州パズル 

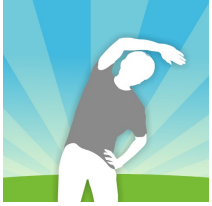
価格：無料

ジャンル：ゲーム

ラジオ体操

勤務校の運動会ではラジオ体操第一を行いました。
昼休みの教室でラジオ体操の復習を行いました。

今回使ったのは以下のiPadアプリです。



[ラジオ体操 第1・第2](#) 

価格：700円

ジャンル：ヘルスケア／フィットネス

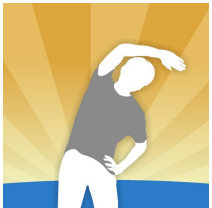
iPhone版は第1と第2が別になっています。



[ラジオ体操 第1](#) 

価格：350円

ジャンル：ヘルスケア／フィットネス

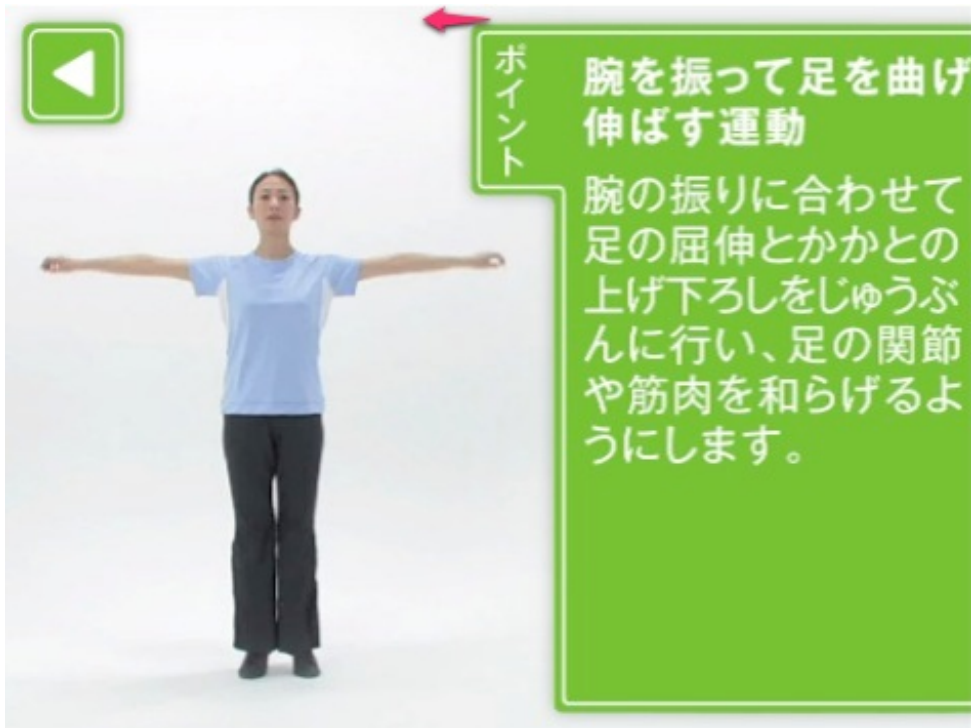


[ラジオ体操 第2](#) 

価格：350円

ジャンル：ヘルスケア／フィットネス

動画編はポイントをタップすると、テキストでポイントが示されます。



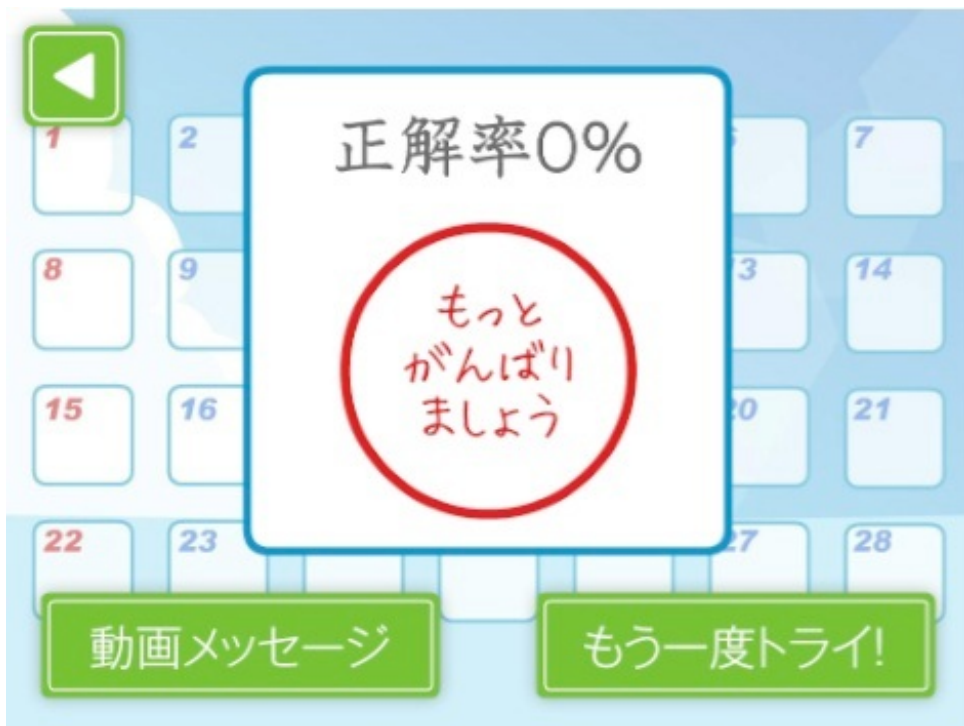
残念なのは、動画の一時停止や巻き戻し・早送りができないことです。

ゲーム編は、次の体操に移る5秒前に2択のクイズに答えるようになっています。





間違えると動画が終了します。



昼休みに数人でさせてみましたが、楽しみながらクイズに答えていました。

NHKの公式サイトでは、ラジオ体操の図解がPDFファイルとして配信されています。

[【PDF】「ラジオ体操」の図解（第1・第2）](#)

図解では左右に行う体操は「左から」を原則にして記されています。

動画では視聴者と向かい合う形になるため、出演者は「右から」体操を行います。

国民的な体操ですから、正しく覚えさせたいものです。

動画はかんぼ生命の公式サイトにアクセスしてテレビに映すこともできます。

[ラジオ体操動画映像](#)

早送りや巻き戻しもできるので、こちらの方が授業では使いやすいかもしれません。

読み聞かせ

読書月間中のイベントの一つに、「教師による読み聞かせ」というのがありました。
ぼくはiPadアプリの「ラジオ絵本 ゴ・ゴ・ゴリラ」を読みました。



ゴ・ゴ・ゴリラ [App Store](#)

価格：無料

ジャンル：教育

はじめに音を消して、動画に合わせてぼくが読み上げました。
次に音を出し、サンプラザ中野くんの歌を聞いてもらいながら動画を見せました。
3回目は「あそぶ」モードにして、いろいろな音を出してもらいながら楽しみました。





ラジオ絵本は「みる」モードの他にもう一つ、「あそぶ」などのモードがあるのがiPadらしくておもしろいです。

ラジオ絵本シリーズはアプリのダウンロード後に一度ネットワーク接続して動画等のファイルをダウンロードする必要がありますので気をつけてください。



[小枝のマーシャ](#) 

価格：無料

ジャンル：教育



[リリーさんのおだんご](#) 

価格：無料

ジャンル：教育



とんでけおふとん [App Store](#)

価格：85円

ジャンル：教育



雨のうた [App Store](#)

価格：85円

ジャンル：教育



iPadが世に登場して3年になります。

iPadはほぼ1年ごとに新モデルが登場しています。

初代iPad（2010年春）

薄型でタッチパネル式のタブレットパソコンです。

それまでのノートパソコンと違うのは大きさと扱いやすさでした。

iPad2【第2世代iPad】（2011年春）

初代iPadと大きく変わったのは次の2点です。

（1）画面を他の機器から出力できるようになった

初代iPadでは、スライドショーなど一部のアプリの機能しか外部の機器に画面を送ることができませんでした。

iPad 2からは、画面をそのままテレビやプロジェクタに映し出すことができるようになりました。

これで、授業での活用の幅が大きく広がりました。

（2）カメラが付いた

写真や動画を撮る事ができるようになりました。

新しいiPad【第3世代iPad】（2012年春）

現在発売されているのは第3世代のiPadです。

iPad 2との大きな違いは2点です。

（1）画面がきれいになった

新しいiPadでは、画面の解像度がきめ細かくなり、格段にきれいになりました。紙の印刷物を見ているのと変わらない感じです。

（2）音声入力ができるようになった

ネットに接続している環境でなら、音声で文字を入力できるようになりました。話したことをかなりの精度で変換してくれます。

iPad Retinaディスプレイモデル【第4世代iPad】（2012年秋）

第3世代iPad発売から半年で登場した新モデルです。

CPUの性能が上がり、処理速度が向上しました。

また、2013年2月にはこれまでの16GB、32GB、64GBモデルに加えて128GBが新たに発売されました。

アクセスガイド

iOS 6 にアップデートしました。

その中でも注目の新機能、アクセスガイドを設定してみました。

この機能は、使用するアプリを1つだけに制限したり、タッチで反応する領域を指定したりすることができるものです。

授業などで子どもにiPadを使わせるときに有効だと思います。

1 設定をする

設定>一般>アクセシビリティ



学習サポートの「アクセスガイド」をオンにします。



パスコードを設定します。

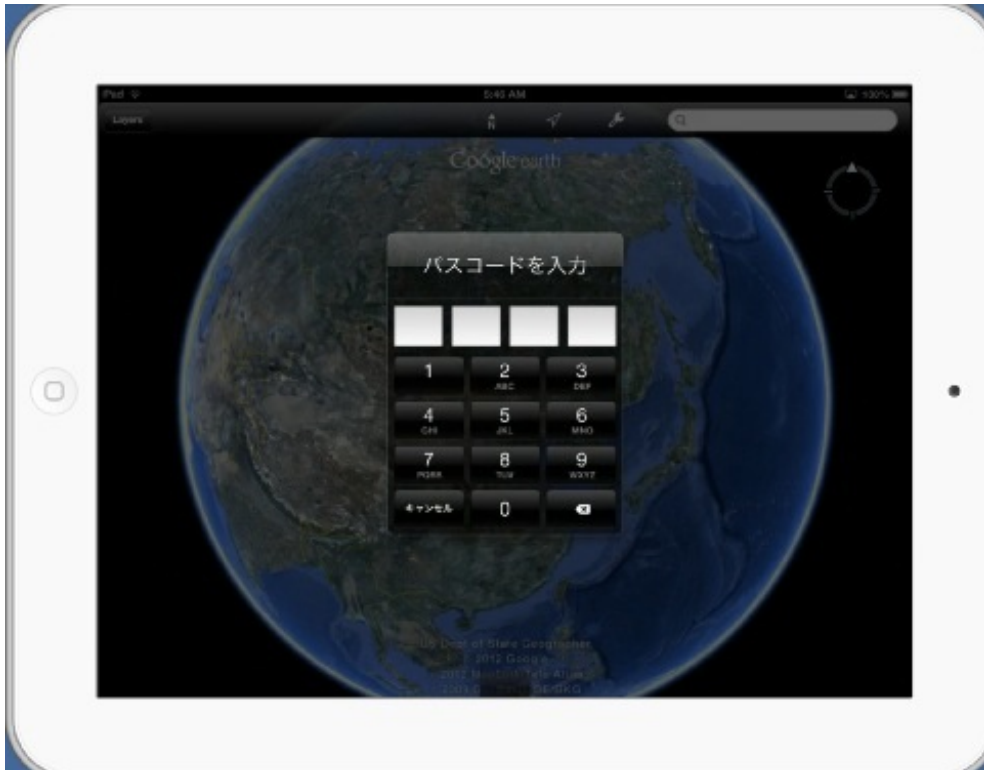


2 アクセシビリティが有効になると

アクセシビリティが有効になっている間は、ホームボタンを押すとメッセージが出ます。アプリは終了しません。



解除するには、ホームボタンをトリプルクリックしてパスコードを入力します。

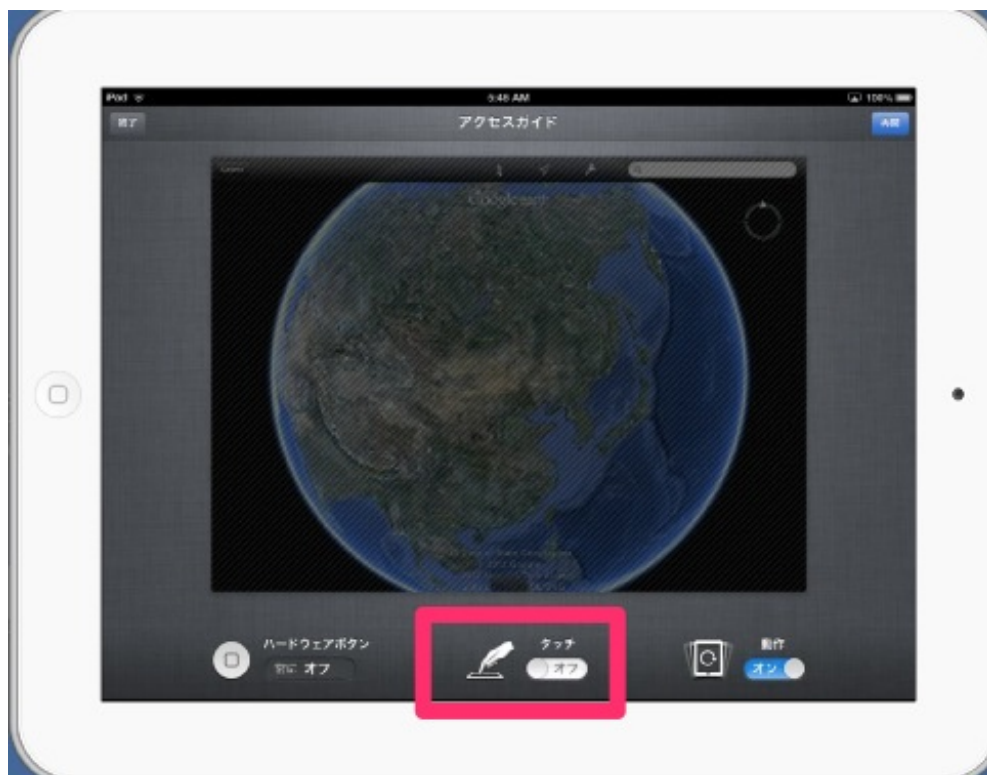


3 アプリを起動させた後の設定

使わせたいアプリを起動させたら、ホームボタンをトリプルクリックします。



アプリの画面が収縮して、アクセスガイドの設定が表示されます。
タッチをオフにすると、ホームボタンだけでなく、画面上のどこをタッチしても反応しなくなります。



タッチしても反応させない部分を領域指定することもできます。

タッチをオンにして、任意の領域を囲みます。



適当に囲んでも、きれいな長方形になって領域が指定されます。
例えば、設定や検索窓がある右上の部分指定すると・・・

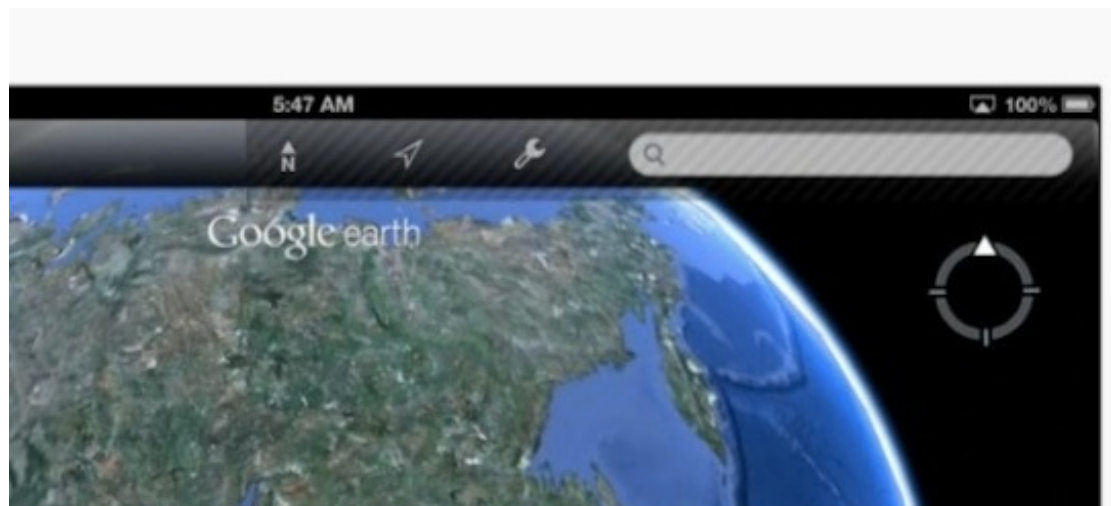


網かけ表示になります。

これでこの領域だけはタッチしても反応しません。

下の地球儀の部分だけを動かすことができます。

地球儀に飽きて、他のアプリを触ろうとしてもホームボタンが反応しないので変えることができません。



ありそうでなかった、便利な機能だと思います。

メモリ

社会科の授業のときに、プリントの問題をさせていたときの事です。

ぼくはiPadでこのプリントを撮影してHDMIケーブルでテレビに表示し、プリントに答えを書き込みながら答え合わせをしていました。

すると、書いている途中にアプリが終了して、ホーム画面に戻ってしまいました。

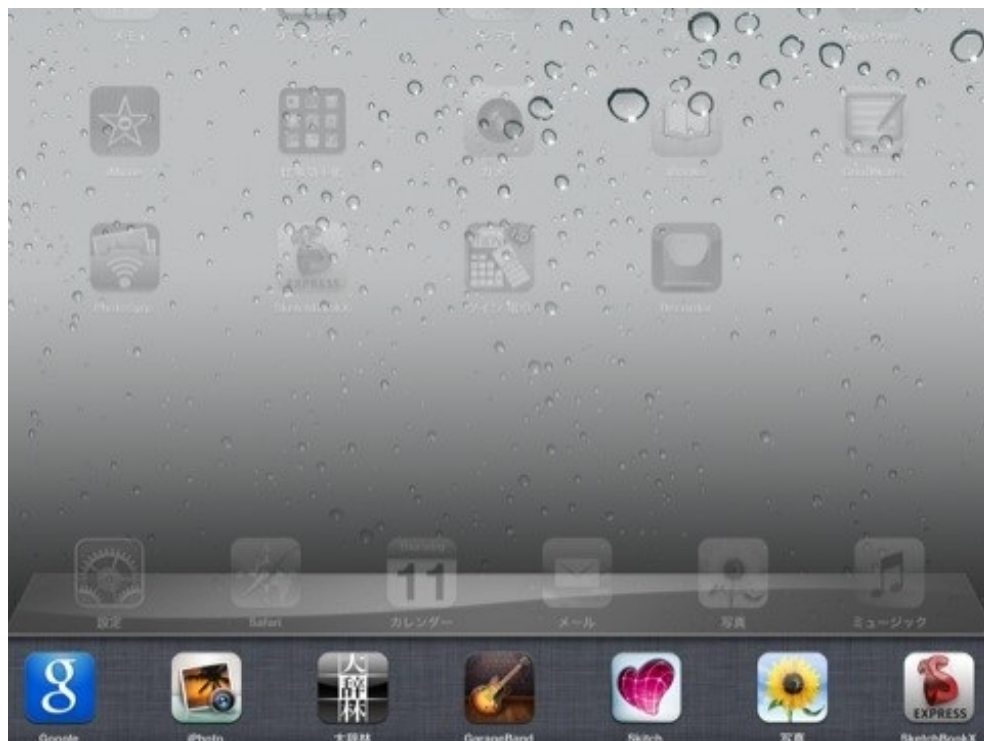
再びアプリを立ち上げて書き込みを続けましたが、しばらくするとまたホーム画面に戻ってしまいました。

このアプリ、AirPlayやHDMIなどの外部接続をしなければ、どんなに激しく書き込んでも落ちません。

とりあえず、アプリ使用中の空きメモリを調べてみました。

iPadのアプリは、一度起動させると、ホームボタンを押して画面上から消えても、実際は完全には終了せずに動き続けています。

裏で動いているアプリを画面の下に表示するには、ホームボタンを二度押しするか、指を四本同時に画面に当てて上にスライドさせると現れます。



このように表示されている間は、下のアプリも稼働しているので多くのメモリを使用します。

iMemoryGraphというアプリで使用状況を見てみます。



iMemoryGraph 

価格：無料

ジャンル：ユーティリティ

このアプリは、iPadの空きメモリや使用中のメモリの状況をグラフ表示するものです。裏でアプリが動いていない場合は下のような表示になります。

画面上のグラフ部分の、一番上の折れ線が空きメモリを示すグラフです。



アプリを次々と起動させると、グラフは急降下していきます。



空き容量が足りなくなると、Wi-Fiに接続しているにもかかわらずAirPlayの表示が出なくなりました。

通常なら、早送りボタンの右側にAirPlayマークが表示されます。



どうやらiPadは空き容量が足りなくなると、AirPlayができなくなる仕様になっているみたいです。

ちなみに、裏で稼働中のアプリを完全に終了させる手順は次の通りです。

まず、画面をスライドさせて稼働中のアプリを表示させた状態でアイコンを長押しします。



すると下のアプリがプルプルふるえ出し、左上に削除マークが表示されます。

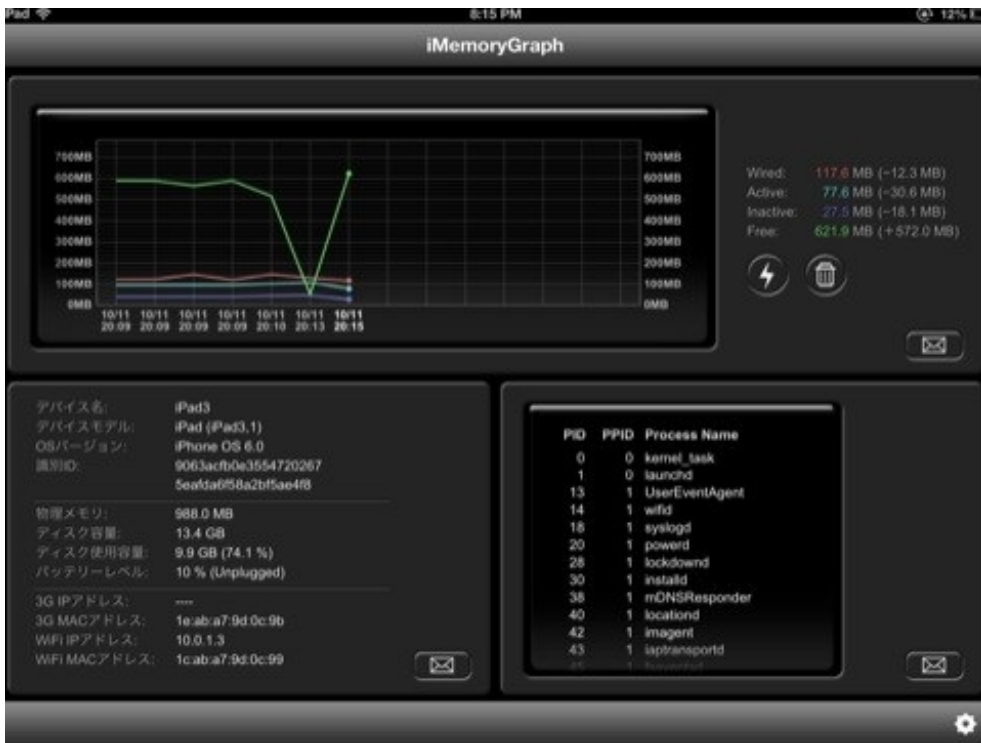
これをタップしていくとアイコンが消えていきます。

アプリ自体が削除されたわけではありません。

アプリの稼働が止まるだけです。



するとグラフは元通りになります。



AirPlayボタンも再び表示されました。

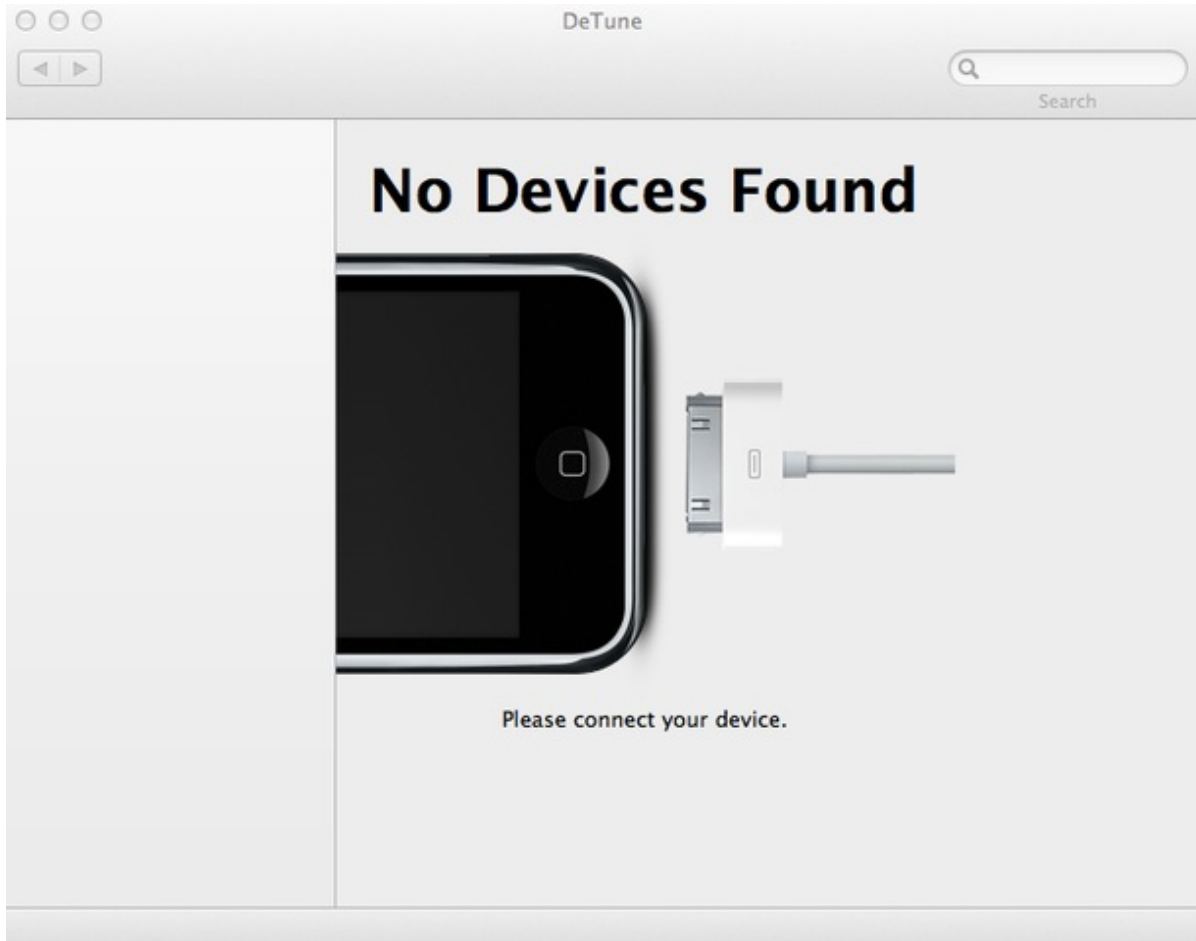


「設定は合っているはずなのに、AirPlayボタンが出てこない」という時は、他のアプリの稼働を停止させるか電源を入れ直した方がいいということがわかりました。

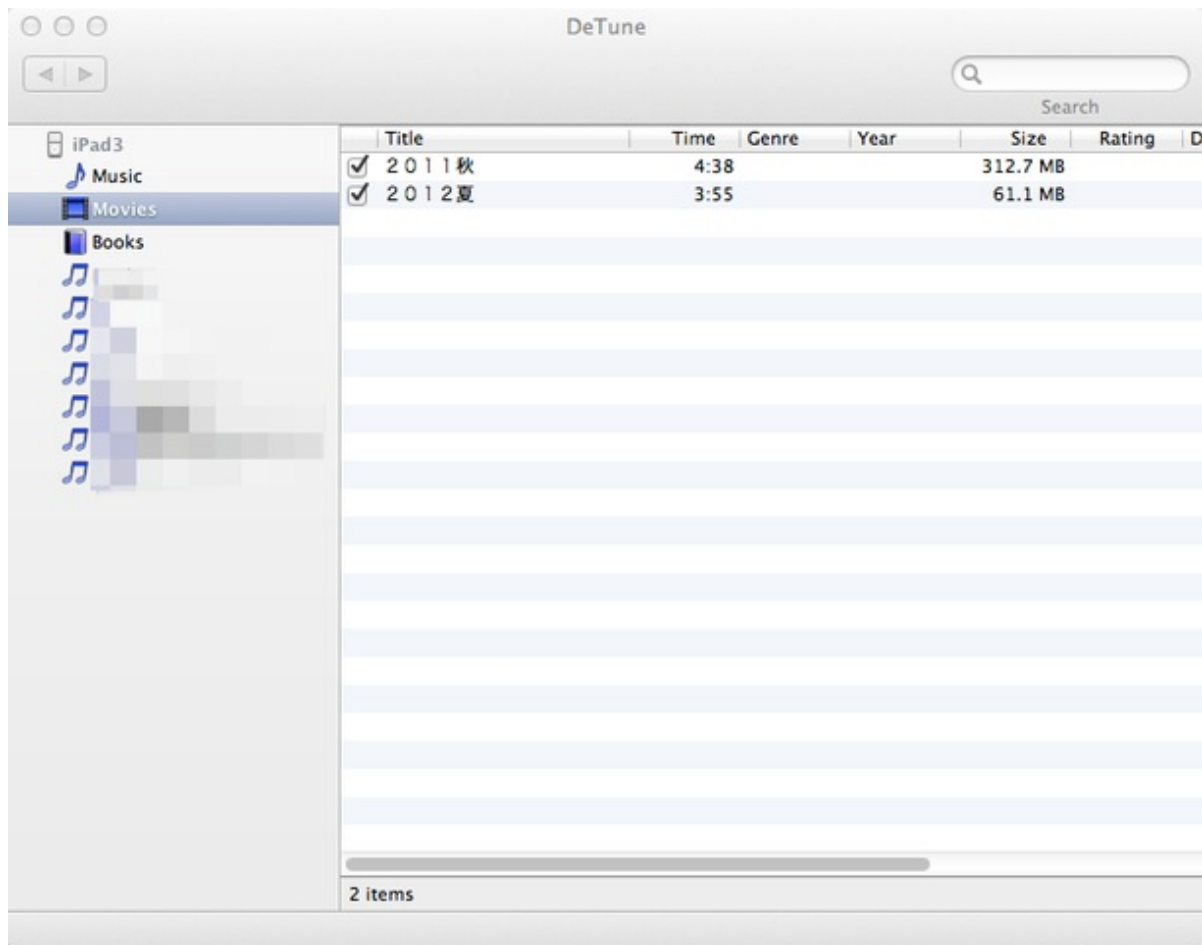
ファイル

iPad内にある音楽やビデオ、書類などのファイルをパソコンに転送する方法を紹介します。

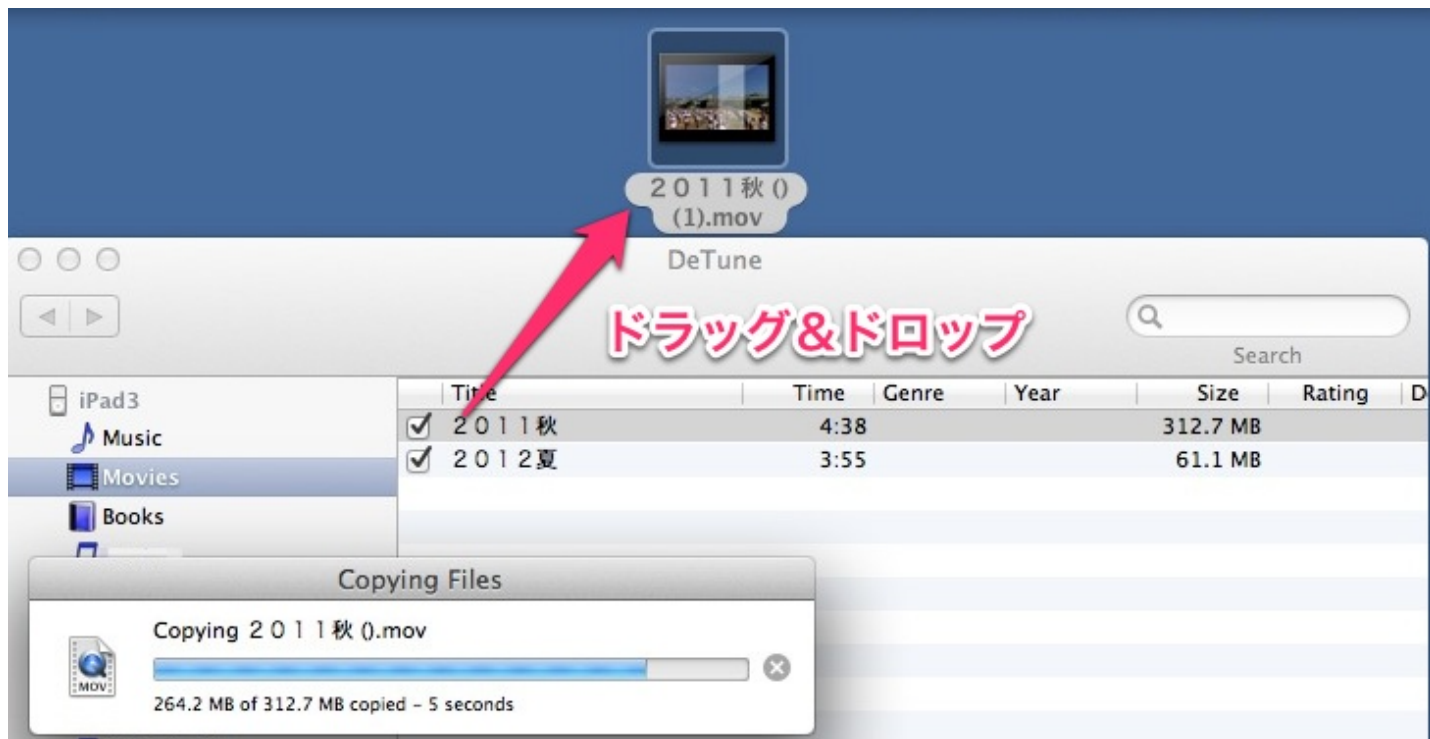
DetuneというPC用のフリーソフトを使用します。



ソフトを立ち上げてiPadをケーブルでつなぐと、音楽、ビデオ、書類のファイルやプレイリストが表示されます。



必要なデータをドラッグ&ドロップすれば、デスクトップ上にファイルをコピーすることができます。



パソコンのトラブルで元のファイルを消失し、iPadにしか残っていない時に使えます。



「パソコンをインターネットにつなぎたいので教えてほしい」と勤務地のAさんに頼られました。Aさんの家にあったのは、新品のiPad(2nd)でした。

「外国に住んでいる娘からプレゼントされたけれど使い方がわからない。」
遠く離れた親御さんにiPadを送るなんて素敵な話だなと思い、喜んでお手伝いさせていただきました。

1 無線LANルーターを買う

iPadは無線でインターネットに接続します。

そのためには、無線LANルーターという機器を、自宅に引いてある有線のインターネット接続用のケーブルの先に取り付けなければいけません。

安くて評判のよさそうなものを選んで注文しました。

2 ルーターの初期設定をする

注文して数日後にルーターが届きました。

Aさんのところに行く前に、試しに自宅でルーターの設定を行いました。

ぼくが引っ越してきたときに持参したルーターが繋がらなくて、AirMacExpressを買い直した経験があるからです。

Aさんの家とぼくの宿舎はプロバイダーもモデムも同じなので、ここでつながればAさんの家でもつながります。

どきどきしながら電源投入、そしてiPadからルーターへプロバイダーアカウント&パスワードを直接入力。

無事インターネットに接続できました。

3 iPadのアクティベートをする

Aさんのお宅にルーターを持って再訪問しました。

まず、Aさん宅のモデムとルーターをLANケーブルでつないで電源を入れました。

ルーターのランプが正常に点灯するのを待ってから、iPadの電源を入れました。

次にiPadのアクティベートです。

アクティベートというのは、言語やネットワークなどの初期設定をすることです。

AppleIDなどの項目は「後で」にして進めました。

アクティベート終了。AさんのiPadはとりあえず使えるようになりました。

4 Aさんのプロバイダーアカウントで接続しなおす

ルーターを初期化したあとに再接続し、アカウントとパスワードをAさんのものに変更しました。

お気に入りに「ヤフージャパン」を入れておきました。

5 操作の仕方を教える

ホームボタンとスリープボタンの使い方、音量調整、カメラの撮影の仕方を教えました。

本体横のスイッチは「画面の向きをロック」に変更しました。

タイピングの時のキーボードの切り替えの仕方も説明しました。

日を改めて、今度はFaceTimeを設定しにAさんの家に行きました。

6 AさんのYahoo!アカウントを取得する

AさんのiPadからYahoo!に接続し、Aさんの新規アカウントを取得しました。

アカウントはAさんの名前、パスワードはAさんの個人情報を入力しました。

7 AさんのAppleIDを取得する

FaceTimeの接続には、AppleIDが必要です。

AppleIDの取得には、通常クレジットカードかiTunesカードが要ります。

しかし、Aさんはクレジットカードを持っていないので、iTunesストアから、無料アプリをインストールしてアカウントを作成しました。

詳細はAppleの公式ページをご覧ください。

[クレジットカードを使わずにiTunes Store,App Store,iBokstore及びMac App Storeアカウントを作成する方法](#)

ぼくは、「iPhoneを探す」（無料）を購入する際に、「クレジットカードなし」を選択して登録

しました。

登録する際のIDは、取得したばかりのAさんのメアドを使って登録しました。

AppleIDの取得には、名前や生年月日、現住所以外にも「秘密の答え」や「緊急時のアドレス」を登録する必要があります。

秘密の答えは無難なものを選んで答え、緊急時のアドレスはとりあえずぼくのGmailを登録しておきました。

8 FaceTimeに娘さんのYahoo!メールアドレスを登録する

手がかりは娘さんのYahoo!のメアドだけです。

FaceTimeを起動して、取得したばかりのAさんのAppleIDを入力します。

次に連絡先の「+」をタップして、新規連絡先に娘さんのメアドを入力します。

そしてメアドをタップ。

着信音が数回響きました。

すると画面に「接続中」の文字。

数秒すると、真っ暗な画面のまま娘さんの声が聞こえました。

「ちょっと待って」

どうやら現地は深夜だったらしく、就寝中の娘さんが手探りでiPadを起動させたようです。

しばらくすると娘さんが部屋の電気をつけました。

すると画面が明るくなり、娘さんの顔が映し出されました。

Aさんは夜中に起こした娘さんに謝りながらも、その表情は嬉しそうでした。

9 接続の仕方をAさんに教える

通話をいったんきり、今度はAさんにFaceTimeの接続の仕方を教えました。

教えるといっても、FaceTimeを起動してアドレスをタッチするだけです。

Aさん親子の橋渡しができて、ぼくも嬉しかったです。

iPadのすばらしさを改めて感じた瞬間でした。

iPad教師のブログ

<http://p.booklog.jp/book/65853>

著者 : canpycanpy

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ